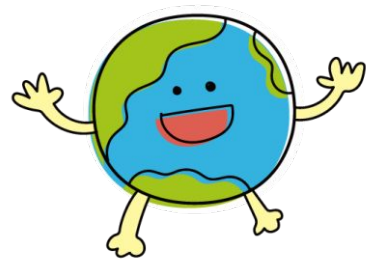




食品ロスについて

長野県上田染谷丘高校 1年4組 浅川樹里



この課題に関わるSDGsの番号



テーマ設定の理由

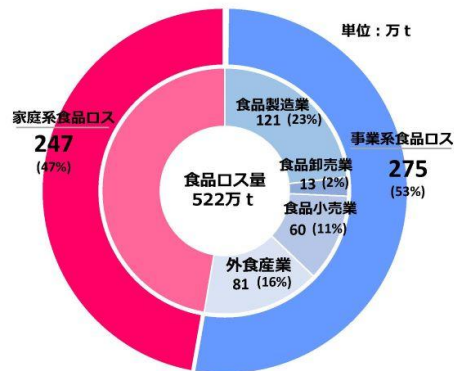
前に食品ロスについてのニュースを見てから食品ロスについて気になっていたのですが、この機会に詳しく調べてみることにした。



現状

本来食べられるのにも関わらず捨てられる食品を食品ロスという。

日本では年間522万tの食品ロスが発生している。日本人1人当たりの食品ロスの量は年間で約41kgにもなる。これは、日本人一人あたりが毎日お茶碗一杯分の食料を捨てていることになる。また食品ロスを含めた多くのゴミを廃棄するため、ゴミの処理に多額のコストがかかっていたり、可燃ごみとして燃やすことでCO2排出や焼却後の灰の埋め立て等の環境への負担も大きい。



国民1人当たり食品ロス量

1日 約113g

※ 茶碗約1杯のご飯の量 (約150g) に近い量

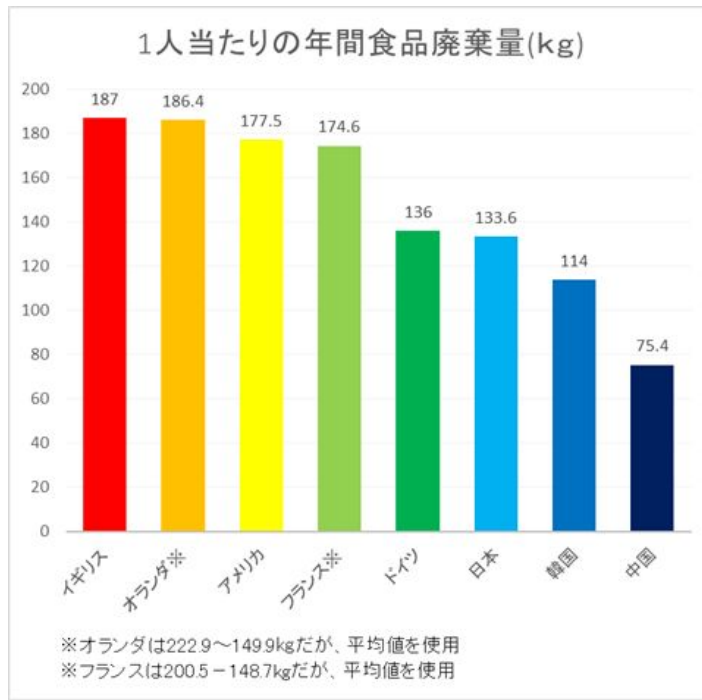
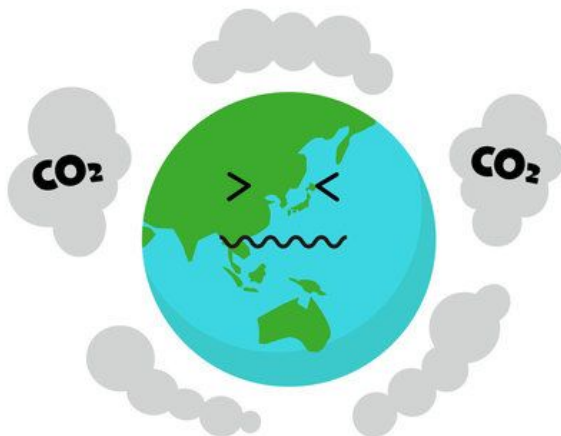
年間 約41kg

※ 年間1人当たりの米の消費量 (約53kg) に近い量

資料：総務省人口推計(2020年10月1日)
令和元年度食料需給表(確定値)

課題

現在日本は食品ロス世界ランキング**第6位**である。世界には十分に食事を取れない人がいる中で**まだ食べることのできる食品が多く廃棄**されている。食品ロスによる**環境への負担も大きい**。



解決策

買いすぎ、作りすぎをしない ⇒ 自分の食べ切れる量を考えて食品を扱うことで食品ロスを出さないようにする。

賞味期限をこまめに確認、食品が長持ちするよう保存方法を工夫する ⇒ 気づいたら賞味期限が切れていた、食べ残しを放置して食べることができなくなってしまったなどから食品ロスを出さないようにする。賞味期限が近い食品から料理をしたりしたり、食べきれない食品はすぐに冷蔵庫に保存するなど意識して生活する。

10代からの提言

家庭から発生する食品ロスを削減するためには、国民1人1人の意識、行動が変わることが重要である。これくらいなら捨ててもいいやではなく、「**世界には自分が出した食品ロスで生きることができた人が居た**」ということをおぼれずに1人でも多くの人た食品ロスへの意識が大きくなって欲しいと思う。また食品ロスによる環境への負担も大きいので、食品ロス削減によって私達た快適に暮らすことのできる**地球を自分たちの手で守って**いこう。

感想

今回食品ロスについて詳しく調べてみて1人1人のちょっとした行動の積み重ねが、食品ロス削減につながることを改めて実感したので、私にできる最大限のことを毎日続けていこうと思う。かといって食品ロスは自分一人で解決できるほど小さな問題ではないので、周りの人に自分から広めたり食品を粗末に扱っている人を見かけたら注意するなどして、1人でも多くの人に食品ロス削減に取り組んで欲しいと思う。